

広報



# やまこし

2005  
**2月**  
第437号



広報やまこし

2005  
2月  
第437号

●発行/山古志村役場  
長岡事務所

〒940-0084 新潟県長岡市幸町一丁目三十一  
(幸町分室内)

電話(0258)301035  
FAX(0258)3216103

●編集/企画課 ●印刷/大川印刷株式会社

## 2月村民カレンダー

日	内容	ゴミの収集
1(火)	・にこにこ会 10:30~14:30 陽光台A集会所	可燃
2(水)		不燃
3(木)		可燃
4(金)	・すくすくチャイルドの会 9:30~11:00 青葉台集会所	資源
5(土)		可燃
6(日)		
7(月)		
8(火)	・にこにこ会 10:30~14:30 陽光台C集会所	可燃
9(水)		不燃
10(木)	・にこにこ会 10:30~14:30 陽光台B集会所	可燃
11(金)	建国記念の日	
12(土)		可燃
13(日)		
14(月)	・にこにこ会 10:30~14:30 縄文の杜	
15(火)		可燃
16(水)		不燃
17(木)		可燃
18(金)	・もの忘れ相談 14:00~16:00 ・すくすくチャイルドの会 9:30~11:00 新陽集会所	資源
19(土)	・長岡雪しか祭り(山古志のさいの神)	可燃
20(日)	・長岡雪しか祭り	
21(月)		
22(火)	・いきいき地域づくりのつどい 10:00~15:00 アクアレー長岡	可燃
23(水)	・にこにこ会 10:30~14:30 縄文の杜	不燃
24(木)		可燃
25(金)	・にこにこ会 10:30~14:30 縄文の杜	資源
26(土)		可燃
27(日)		
28(月)		

## 震災以後の納税について

村県民税  
固定資産税  
国民健康保険料  
介護保険料  
保育料 10~3月分…免除されます  
浄化槽使用料 10~3月分…徴収しません  
水道使用料 11~3月分…徴収しません

10月23日新潟県中越  
大震災以後の納期の到  
来するものについては  
納期を延長しています。

※水道使用料10月分(使用月9月)に限り1月31日(月)に  
指定口座から振替させていただきました。ご了承下さい。

復興への思い胸に…

「帰ろう山古志の地へ」「がんばろう山古志」の文字が飾られた  
さいの神、三ヶ地区住民の強い思いで実現した。わらは雪深い山  
古志村から持ってきたもの。勢いよく燃え上がる炎に復興への思  
いを新たにした。(1月15日土長岡市陽光台)

今月の内容

村議会定例会 2P  
雪下ろし隊 3P  
お知らせ 6P

山古志村新潟中越地震災害対策本部

山古志村役場 長岡事務所

〒940-0084

長岡市幸町1丁目2番31号(長岡市役所分室内)

☎ 0258-30-1035 fax 0258-32-6103

## 古志の火まつり実行委員・ボランティア募集中

2月19日(土)20日(日)千秋が原で行われる長岡  
雪しか祭りの中で山古志のさいの神(2月19  
日)が行われる事となりました。つきましてはイ  
ベントを盛り上げてくれる実行委員及びボラン  
ティアを募集しています。ぜひご連絡ください。  
古志の火まつり実行委員会事務局 五十嵐 ☎30-1035



# 第四回 山古志村議会定例会

十二月二十二日から二十五日の会期で開かれました。

## 行政報告(要旨)

十月二十三日、村は中越大震災により全村にわたり村道・国県道に至るまで寸断され、電気・電話・水道と社会資本の全てを失い全村民避難のやむなきに至りました。その後国県の献身的な支援のおかげで、いくつかの地域について工用道路での通行が可能になり、電気が復旧された地域もあります。しかし、村の全ての家屋が災害を受け、状況が深刻なことから避難を続ける事を選択せざるをえません。

今、山古志村は国・県と行政が一体となり、復旧復興計画の早期策定をめざしています。同時に災害の状況調査・国の災害査定準備を進めているところです。遅くとも三月頃までには復興計画を村民に知らしめる事をめざして参ります。近いうちに議会・村民を網羅した中で、山古志村復興検討チームをお願いしたいと考えています。

復旧への道はまだまだ緒についたところです。中長期的な展望に立ち民間活力を導入した体制づくりが急務と考えます。行政は一日も早い復旧の道を探る事を第一とし、その間村民の生活を支える事を当面の重要課題としてとらえていきたいと考えます。今の考えられる所の財源を全て総動員して復興にあたりたい。

十月十三日、廃置分合の議決を踏まえ、県知事に合併の申請を行いました。四月一日には長岡市への合併を控えています。復興への道は長岡市へ編入した後も多くの時と多くの費用が必要と考えます。今から長岡市の理解と協力を得ることも重要な課題と考えます。二十村郷復興の象徴としての思いを大切にがんばりたいと考えています。

## 雪下ろし隊の出動

長期避難で不在となっている村の家屋を守るため雪下ろし隊が結成されました。

地域の実情を把握し、豪雪地の雪下ろしに慣れていると言うこと、又自分達の地域を自分達で守るという意識が強い事などから雪下ろし隊は地元村民四八八名で構成されました。

雪下ろし隊は十二月三十日に初出動し、一月十九日までに三回目の雪下ろしを終えました。この間延べ二、四七八人の雪下ろし隊が地域を守るために活動をしました。今後は家のまわりに下ろした雪を重機で除雪する作業も並行して行われます。

この日行われた池谷地区の雪下ろし作業では8名の隊員が午前10時から午後3時までの間に家屋など9戸の雪下ろしに汗を流した。(1月10日)



安全確認のため雪下ろし作業を見守る自衛隊員

## 村の積雪量(単位:cm)

	竹沢	種苧原
12/23	36	55
12/24	65	73
12/25	48	66
12/26	42	85
12/27	58	95
12/28	70	111
12/29	65	105
12/30	70	113
12/31	85	125
1/1	96	148
1/2	120	177
1/3	110	156
1/4	102	141
1/5	103	145
1/6	98	137
1/7	87	128
1/8	85	126
1/9	115	154
1/10	153	197
1/11	190	234
1/12	250	303
1/13	260	282
1/14	253	288
1/15	235	269
1/16	200	249
1/17	202	260

## 冬期間の村の保安体制

- 役場職員の常駐(役場宿直室)  
役場職員(二名)が交代で常駐
- 自衛隊の駐屯(村民会館)  
雪下ろし隊の輸送の安全、緊急時に備える
- 長岡警察署・警察官の駐在  
種苧原4名 虫亀3名 竹沢3名
- 小千谷地域消防署・魚沼市消防署  
救急車待機

## 雪下ろし隊安全対策

パトロール隊  
道路の除雪状況・積雪データの整理

村内10箇所緊急避難所を設置  
3日分の水、食糧、燃料(プロパンガス・灯油)コンロ、ストーブ、毛布を配備

雪下ろし隊の通信手段  
村内は電話が不通の上、携帯電話の通話も一部地域に限られるため、衛星携帯・無線を使用。



## 村内の道路除雪区間

- 国道291号線  
浦柄～竹沢  
魚沼市(旧広神村)～小松倉
- 県道栃尾山古志線  
竹沢～役場
- 国道352号線  
魚沼市(旧広神村)～種苧原
- 村道虫亀間内平線  
間内平～虫亀

## ◆専決処分の承認及び報告について

- ・「平成十六年新潟県中越大震災」に係る災害被害者に対する山古志村税(村民税及び固定資産税)の減免の特例に関する条例の制定について
- ・「平成十六年新潟県中越大震災」に係る被災者に対する保険料等(国民健康保険料・介護保険料・保育料)の納期限の延長等に関する条例
- ・「平成十六年新潟県中越大震災」に係る災害被害者に対する山古志村民健康保険料の減免の特例に関する条例の制定について

## ◆平成十六年度補正予算

- ・山古志村一般会計補正予算(第五号)
- ・山古志村民健康保険特別会計補正予算(第二号)
- ・山古志村診療所特別会計補正予算(第三号)
- ・山古志村歯科診療所特別会計補正予算(第一号)
- ・山古志村老人保健特別会計補正予算(第二号)
- ・山古志村簡易水道事業特別会計補正予算(第四号)
- ・山古志村浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第二号)
- ・山古志村介護保険特別会計補正予算(第二号)

## 山古志村議会臨時会

一月十二日の会期で開かれました。

## ◆議決

- ・山古志村復興基金条例の制定について
- ・山古志村特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

## ◆平成十六年度補正予算

- ・山古志村一般会計補正予算(第六号)
- ・山古志村歯科診療所特別会計補正予算(第二号)





お話を聞く時も新しいお友達といっしょ



「給食ものこさず食べるよ。」



ニコニコ笑顔のオヤツタイム



みんなのお気に入りの遊び場所

市内の三ヶ所の保育園に通っていた子ども達が一月四日から下川西保育園に元気に通い始めました。下川西保育園49名の子ども達と山古志村の31人の子ども達が仲良く楽しく過ごしています。

### 下川西保育園

### 白馬村子ども元気スキー 1月15・16日



地元の子も達との楽しい交流会

山古志村の小中学生が白馬村でスキーをしました。これはコナミスポーツと白馬村から「元気をプレゼントしたい」と招待いただいたもの。今回の震災でスキーを楽しむ余裕もなかった子ども達69名は雄大なスキー場で2日間おおいにスキーを楽しみました。又、15日の夜はウェルカムパーティーが開かれ白馬村の小中学生との交流が行われました。



つきたてのおもちはおみやげにも！



中越地震復興応援写真集が発売されました



ピカチュウが山古志村の子ども達の所に遊びに来てくれました。(1月15日)



「新春慰問コンサート」力強い演奏に元気づけられました。(1月7日)

### 出来事



新しい年に希望をこめて(1月7日書き初め)



新しい学校にもようやく慣れました。



中越典子さんが激励に(12月17日)



山古志中学校(南中学校内)  
「地蔵に首かけずがんばつていきます」



そうじや体育の授業などは坂之上小学校といっしょに



子ども達の元気な声が教室にひびいてます。



山古志小学校(坂之上小学校内)  
「新しい生活 新しい友達」

### 山古志中学校人事

●被災した地域の児童生徒に対するところのケアや学習支援のための教員が配置されました。

#### 山古志小学校

講師 谷 芳夫

講師 小倉 昭則

#### 山古志中学校

講師 蕪木 健治

講師 関根 立志

●災害のための学校事務対応として。(村臨時職)

#### 山古志中学校

事務 山田 康子

#### 配置期間

平成16年12月1日から

平成17年3月31日まで

よろしく申し上げます

